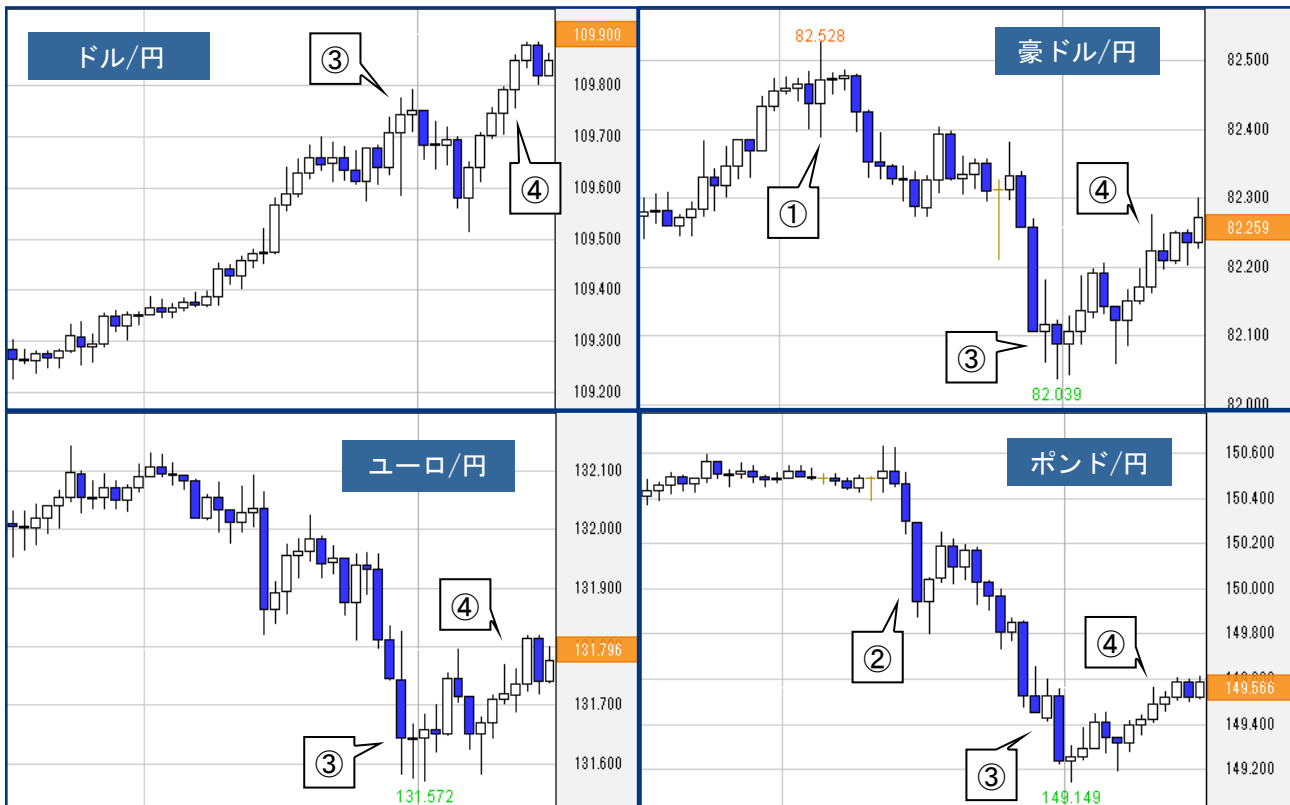


5月2日(水)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

再び米長期金利が焦点に

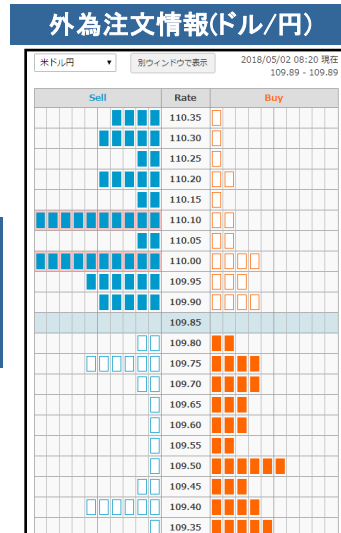
1日(火)の為替相場



期間：1日(火)午前6時10分～2日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪中銀(RBA)は政策金利を1.50%に据え置くと発表。声明では「失業率とインフレの改善は緩やかになる見通し」「インフレ率は当面の間、低水準での推移が見込まれる」「成長率は2018年と2019年は3%を少し上回ると予測」などと、前回までの見通しをほぼ踏襲。「通貨高は経済成長の回復を鈍化させる」「豪ドルはこの何年かのレンジの中で推移」として豪ドル相場に対する見方も変えなかった。豪ドルは多少の乱高下はあったが、反応は控えめであった。
- ② 英4月製造業PMIが53.9と、市場予想(54.8)を下回り前回(54.9)から低下するとポンド売りが活発化。ポンド/円は約1カ月ぶりに150円台を割り込んだ。
- ③ 米4月ISM製造業景況指数は57.3と市場予想(58.5)を下回り、前回(59.3)から低下。これを受けてドルは一時弱含んだが、米4月ISM製造業景況指数の内訳である支払価格指数が79.3と2011年4月以来の高水準を記録した事からインフレ圧力増大観測が高まり米債利回りが上昇したため、ドルが持ち直した。ユーロやポンドや豪ドルに対してドル高が進んだ事からクロス円が下落したため、ドル/円も109円台後半で上値が抑えられた。
- ④ 米長期金利の上昇やドル高を嫌気して下落していた米国株が下げ渋ると、クロス円が反発。ドル/円は109.80円台に上昇して2月5日以来の高値を付けた。なお、ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表が中国訪問に先立ち、「目指すのは中国経済の開放で、経済システムの変更でない」との見解を示した事が株価の戻りに繋がった模様。

1日(火)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22508.03 △40.16	6015.234 △32.502	休場	7520.36 △11.06	休場
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24099.05 ▼64.10	0.0430% ▼0.0120	2.756% ▼0.013	1.405% ▼0.014	休場
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5042% △0.0163	2.9644% △0.0113	67.25 ▼1.32	1306.80 ▼12.40	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	109.300-110.400	131.000-132.300	81.600-82.700	148.700-150.200

【ドル/円】
 昨日のドル/円は、ほぼ3カ月ぶりに109円台後半へ上昇した。米債利回りの上昇とともにドルが買われ、一時109.80円台まで上値を伸ばした。5月に入り再び米長期金利に焦点が当たり始めており、本日は米連邦公開市場委員会(FOMC)とともに、米財務省が発表する四半期定例入札の概要にも注目したい。トランプ政権の大型減税などで国債増発は避けられない見通しであり、供給過剰は利回り上昇要因となりやすい。一方、FOMCでは6月利上げの示唆が行われる可能性があり、こちらも米債利回り上昇に繋がりやすいと見る。米長期金利の上昇がドル高を後押しする流れは続くと思われ、ドル/円は110円台の回復から200日移動平均線(執筆時110.224円)突破を覗く展開となりそうだ。ただ、米債利回りの上昇やドル高に対して米株式市場が拒絶反応を示さないか、「セル・イン・メイ」にも注意しておく必要があるだろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
5/2(水)	10:45	○	(中国) 4月財新/製造業PMI	51.0	50.9
	17:30		(英) 4月建設業PMI	47.0	50.5
	18:00	○	(ユーロ圏) 3月失業率	8.5%	8.5%
	18:00	◎	(ユーロ圏) 1-3月期GDP・速報(前期比)	+0.6%	+0.4%
	18:00	◎	(ユーロ圏) 1-3月期GDP・速報(前年比)	+2.7%	+2.5%
	21:15	◎	(米) 4月ADP全国雇用者数	+24.1万人	+19.8万人
	23:30		(米) EIA週間原油在庫統計	--	--
	24:30		(ユーロ圏) バイトマン独連銀総裁、講演	--	--
	27:00	◎	(米) FOMC政策金利発表	1.50-1.75%	1.50-1.75%
	未定	◎	(米) 四半期定例国債入札概要	--	--

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。